

以下、本文-----

肺癌組織における PD-L1 不均一性の解析

1. 研究の対象

2017～2018 年に当院で肺癌に対して肺切除術を受けられた患者さま

2. 研究目的・方法

切除された肺癌組織を用いて PD-L1 というタンパクの発現を解析します。

以下の方法で解析を進めます。

PD-L1 染色は実地臨床で日常診療で行われている検査であり、その結果を踏まえて解析をすすめる。

肺癌切除標本の PD-L1 染色プレパラートを評価し

肺腺癌; ; leipidic, papillary, acinar, micorpapillary, solid

肺扁平上皮癌 ; keratinizing, basaloid

の組織型に分類し、それぞれの組織型の PD-L1 陽性細胞率を検討する。

1 つの組織につき、最低 4 カ所を評価することとする

1 つの組織型について腫瘍内リンパ球を parenchymal T cell とし、腫瘍間質内リンパ球を stromal T cell として算出する。

2017～2018 年に外科組織検体をもとに PD-L1 陽性率を評価のうえ、Pembrolizumab を投与された症例と気管支鏡検体をもとに PD-L1 陽性率を評価のうえ、Pembrolizumab を投与された症例を比較し、効果に違いがあるか検討する。

腫瘍組織内 PD-L1 不均一性と Pembrolizumab の効果に関連があるか解析する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術で切除した肺癌標本検体

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴（Pembrolizumab が使用されたかどうか）、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局：

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 診療主任 國政啓

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3 丁目 1-69

TEL; 06-6945-1181

研究責任者：

研究責任者

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 國政啓、熊谷融

-----以上